

報道関係者各位

平成 27 年 6 月 3 日



横浜市はトマトの栽培が盛んで、その年間生産量はおよそ4,000トン。神奈川県内市町村で第一位です。横浜ブランド農産物の一つにもなっていて、「サンロード」や「桃太郎」などの品種が主に栽培されています。

一般に他の野菜と比べて味の違いが出やすいとされ、各農家は肥料や水やりを調整しながら、独自の「味」を追求しています。農家自身が直売している他、収穫場所からほど近い当JAの直売所「ハマッ子」や市場などに出荷しているため、ぎりぎりまで熟させているのも特徴です。

品種ごとに彩りも豊かで、この季節、根強いファンの消費者が直売所を訪れ購入していきます。

— 取材について —

取材をご希望される場合は、下記までご連絡をお願いいたします。トマト農家をご紹介します。

○連絡先 JA横浜 広報課

(担当：平岩・福井 045-414-0010)

大玉の「桃太郎ファイト」やミニの「オレンジパールチェ」、
「イエローミニ」などさまざま

